

科目名			英語コミュニケーションⅢ	学年	普通科			必／選	単位数	
				3	アドバンス		キャリア	スポーツ	必	4
					国文	理進				
						○	○			
学 習 目 標			英文を読んだり、書いたりするための基本的な知識を身につけ、自分の考えや物事の説明などが英語で表現できるようになる。また様々な内容の英文に触れ、内容に関する理解を深めていく。							
使 用 教 材			教科書： COMET English CommunicationⅢ（数研出版） 副教材： 書いて身につく パターンプラクティス 英文法教室（桐原書店）							
評 価			評価法	①言語活動に取り組む姿勢 ②4技能5領域に関わるパフォーマンステスト ③課題等の提出 ④小テスト・定期考査・評価問題など 上記①～④を中心に総合的に評価をおこなう						
			評価観点の趣旨	a	知識・技能	英文を読むまたは書くための言語的知識・技能を身につけている 各レッスンのテーマに関する知識を有している				
				b	思考・判断・表現	英語の新出表現を適切に活用し、自分の考え等を表現することができる また他者の意見を踏まえた上で、英語で適切にやり取りをおこなうことができる				
				c	主体的に学習に取り組む態度	積極的に言語活動に取り組んでいる 与えられた教材を活用し、自分にとって必要なことは何かを考えて学習に取り組むことができる				
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。										
期	月	時数	学習項目・ 単元		学習内容		評価方法			
							a	b	c	
1 学 期	4	12	Lesson1 Festivals of the World		自分が住む国や地域の祭りを英語で紹介する 【文法項目】名詞を後ろから説明する分詞		○	○	○	
	5	13	Lesson2 Biomimetics		自然から学んだ技術を英語で紹介する 【文法項目】受け身		○	○	○	
	6	13	Lesson3 The Anchoring Effect		消費行動について、自分の考えを英語で述べる 【文法項目】比較級・最上級		○	○	○	
	7	13	Lesson4 Animal Welfare		人と動物のかかわり方について、自分の考えを英語で述べる 【文法項目】現在完了形		○	○	○	

2 学 期	9	13	Lesson5 Working Styles	将来の職業や働き方について、自分の考えを英語で述べる 【文法項目】関係代名詞 what	○	○	○
	10	14	Lesson6 Bobbi Gibb First Woman Runner in the Boston Marathon	何かに挑戦して人々に影響を与えた人物を、英語で紹介する 【文法項目】知覚動詞＋目的語＋動詞の原形／～ing	○	○	○
	11	13	Lesson7 Virtual Water	資源や環境の問題について、自分の考えを英語で述べる 【文法項目】関係代名詞 who / which / that	○	○	○
	12	13	Lesson8 Dresden's Decision	ドレスデンの橋の建設に関する文を読む 【文法項目】仮定法	○	○	○
3 学 期	1	18	Lesson9 Resilience	心理学におけるレジリエンスに関する文を読む 【文法項目】使役動詞＋目的語＋動詞の原形	○	○	○
	2	18	Lesson10 Chocolate and Child Labor	チョコレートと児童労働に関する文を読む 【文法項目】助動詞＋have＋過去分詞	○	○	○
担当者からのメッセージ（学習方法など）							
英語を使う上で必要となる基本的な表現や文法項目を身につけ、自分の考えなどを英語で表現していきます。間違いを恐れずに積極的に英語を活用していきましょう。							

科目名			英語コミュニケーションⅢ		学年	普通科			必／選	単位数	
					3	アドバンス		キャリア	スポーツ	必	4
						国文	理進				
						○	○				
学 習 目 標			英文を読み、さまざまな表現や多様なテーマに触れる中で、学んだ表現を活用し、関連した内容に関して積極的に他者とコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。また他者とのやり取りを通して、自らの考えなどを英語で適切に、分かりやすく伝える能力を養う。								
使 用 教 材			教科書： APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATION Ⅲ （開隆堂） 副教材： APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATION Ⅲ Workbook （開隆堂） クラウン チャンクで英単語 Basic （三省堂）								
評 価			評価法	①言語活動に取り組む姿勢 ②4 技能 5 領域に関わるパフォーマンステスト ③課題等の提出 ④小テスト・定期考査・評価問題など 上記①～④を中心に総合的に評価をおこなう							
			評価観点の趣旨	a	知識・技能	英文を聞くまた読むための言語的知識・技能を身につけている 各レッスンのテーマに関する知識を有している					
				b	思考・判断・表現	英語の新出表現を適切に活用し、自分の考え等を表現することができる また他者の意見を踏まえた上で、英語で適切にやり取りをおこなうことができる					
				c	主体的に学習に取り組む態度	積極的に言語活動に取り組んでいる 与えられた教材を活用し、自分にとって必要なことは何かを考えて学習に取り組むことができる					
			上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、C の3段階）および評定（１～５の５段階）にまとめます。								
期	月	時数	学習項目・単元		学習内容		評価方法				
							a	b	c		
1 学期	4	12	Lesson1 Take a Walk in Paris		・might, should, would のさまざまな用法		○	○	○		
	5	12	Lesson2 Coffee Is Still Mysterious		・ask, state, claim, tell を用いた間接話法		○	○	○		
	6	16	Lesson3 Why Do We Go to the Library?		・不定詞の副詞的用法 / 仮定法で用いられる不定詞 / 独立不定詞		○	○	○		
	7	12	1 学期のまとめ		・既習項目を用いた英作文など		○	○	○		
2 学	9	16	Lesson4 The Special Relationship		・関係代名詞whatを用いた表現 / 関係副詞を用いた表現 / 複合関係詞 /		○	○	○		

期			between Juno and Lucas	関係詞の非制限用法			
	10	16	Lesson5 The Best Baker in the World	・過去分詞の形容詞的用法 / 分詞構文 / 付帯状況の with	○	○	○
	11	16	Lesson6 Fujita Tsuguharu : The Man Loved throughout the World	・if を用いない仮定法 / 「～しさえすれば」, 「まるで～かのように」などの意味を表す副詞節 / 仮定法における省略・倒置	○	○	○
	12	16	Lesson7 The 2048 Problem	・「とても～なので…」, 「～なので」, 「一度～したら」, 「どこを [で] ～しても」, 「たとえ何を～しても」, 「～するために」, 「万が一～に備えて」という意味を表す副詞節	○	○	○
3 学 期	1	16	Lesson8 Be Free, or Die!	・「めったに～ない」, 「ほとんど～ない」, 「～でなくて…」, 「全く～ない」, 「少しも～ない」, 「かなりの数 [量] の～」という意味を表す否定表現	○	○	○
	2	16	Lesson9 Japanese Craftspeople : The Succession of Japanese Traditions	・some や other などの語を用いた表現 / 「～であるのと同様に…である」, 「前者は～で、後者は…」, 「A も B も～でない」 「A もしくは B」 という意味を表す副詞節	○	○	○
担当者からのメッセージ (学習方法など)							
3年生では「わかる英語」から「使える英語」へと意識を変えて学習を進めていきましょう。日々の積み重ねが大切となるので、毎時間頑張りましょう。							

科目名	論理・表現Ⅲ	学年	普通科				必／選	単位数
		3	アドバンス		キャリア	スポーツ	必	2
			国文	理進				
			○	○				
学 習 目 標	日常的な話題や社会的な話題について、発展的な表現や語彙を用いて、自分の伝えたい情報や考え、気持ちなどを適切かつ論理的に表現できるようになる。またやり取りの中で他者の考えや意見を理解し、その内容を踏まえてさらにコミュニケーションをできるようになる。							
使 用 教 材	教科書：APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION Ⅲ（開隆堂） 副教材：APPLAUSE Ⅲ ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION Workbook（開隆堂）							
評 価	評 価 法	(知識・技能) ・課題考査や定期考査、小テスト等（表現するための語彙や文法項目が身についているか） (思考力・判断力・表現力) ・英作文や小テスト、課題等（テーマに即して英作文等ができるか） ・課題考査、定期考査（語句や文法項目を使用し、英語で表現できるか） 〈主体的に学習に取り組む態度〉 ・授業への積極的な参加 ・課題（十分な内容かどうか）						
		評 価 観 点 の 趣 旨	a	知識・技能	基本的な知識や技能を身につけている。またその知識を活用し、身近な事柄について英語で表現をすることができる。			
			b	思考・判断・表現	発展的な表現や語彙を適切に用いて、発展的な内容について英語で表現をすることができる。 コミュニケーションを行う場面や目的、状況に応じて得られた情報を整理しながら、自分の考えや意見を論理的に表現することができる。			
			c	主体的に学習に取り組む態度	積極的に授業の活動に参加している。 課題の趣旨を理解し、十分に取り組むことができる。			
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。							
期	月	時数	学習項目・単元	学習内容			評価方法	
					a	b	c	
1 学 期	4	6	・予定／意図／確信／希望・願望	Lesson 1 ゴールデンウィークの計画を立てよう	○	○	○	
	5	7	・好き・嫌い／得意・不得意／個人的感想	Lesson 2 自分の将来について考えよう	○	○	○	
	6	7	・提案・助言／必要性・義務／勧誘／受諾・辞退	Lesson 3 新しい旅のスタイルを提案しよう	○	○	○	
	7	6	・依頼・要請／許可	Lesson 4 要望を伝える E メールを書こう	○	○	○	

2 学 期	9	7	・感謝／祝福・喜び／同情／心配・ 懸念	Lesson 5 感謝の気持ちを伝えよう	○	○	○
	10	7	・苦情／謝罪／譲歩	Lesson 6 困っている状況を説明しよう	○	○	○
	11	7	・時間的順序／空間的配列・方向／ 数量(比較)／方法・様態	Lesson 7 方法や手順を教えあおう	○	○	○
	12	6	・描写・説明	Lesson 8 思い出にある人々や場所のことを考 えよう	○	○	○
3 学 期	1	8	・パラグラフリーディング	Lesson 9 自分の考えを整理し、パラグラフにまと めよう	○	○	○
			・プレゼンテーション	Lesson 10 プレゼンテーションソフトを使って発 表しよう	○	○	○
	2	9	・ディスカッション	Lesson 11 考えを深められる話し合いをしよう	○	○	○
			・ディベート	Lesson 12 根拠を明確にしてディベートをしよう	○	○	○
担当者からのメッセージ（学習方法など）							
2 年生の時よりも発展的な内容を扱います。英語で論理的に分かりやすく表現することを意識して取り組んでいきましょう。毎時間の授業に集中して取り組んでこつこつ頑張りましょう。							

令和 7 年度 外国語科

科目名			異文化理解	学年	普通科				必／選	単位数
				3	アドバンス		キャリア	スポーツ	必	1
					国文	理進				
					○					
学 習 目 標			基礎的な英語活用能力を身につける。海外の様々な文化を主体的に学び、学んだことを英語で発表できる。また自国の文化や異文化への理解を深める。							
使 用 教 材			教科書： 副教材：MY FIRST PASSPORT1 （ OXFORD UNIVERSITY PRESS ）							
評 価			評価法	(知識・技能) ・小テストやプレゼンテーションにおける他国の言語や文化についての知識・理解 (思考力・判断力・表現力) ・小テストやプレゼンテーションでの外国語表現の能力 ・プレゼンテーションでの発表姿勢・発表能力 〈主体的に学習に取り組む態度〉 ・ペアワーク等の授業中の活動への参加状況 ・レポートなどの課題の提出状況と課題の内容						
				評価観点の趣旨	a	知識・技能	他国の言語や文化について十分調べ、調べたことを理解し、伝えることができるかどうか。			
					b	思考・判断・表現	適切に英語を用いて相手に伝わる発表ができるかどうか。 プレゼンテーションにおいて姿勢や声の大きさなど相手に伝える工夫ができるかどうか。			
					c	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動に積極的に参加しているかどうか。 調べ学習などに十分にに取り組んでいるかどうか。			
			上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。							
期	月	時数	学習項目・単元	学習内容			評価方法			
					a	b	c			
1	4	3	Lesson9 Can I have a towel, please?	・助動詞を用いて、相手への依頼を英語で表現する。	○		○			
	5	3	Lesson11 Can I stay out until 11:00?	・助動詞を用いて、英語で相手に許可を求める。	○		○			
	6 7	4 3	プレゼンテーション	・グループプレゼンテーションをおこなう。 (調べ学習から始め、英語で発表をする。)	○	○	○			

2	9	2	Lesson13 I'm hungry!	・料理の注文の仕方や料理の説明などレストランでの会話をおこなう。	○		○
		3	Lesson14 What are you doing tomorrow?	・予定について英語で表現する。	○		○
	10	4	プレゼンテーション	・個人プレゼンテーションをおこなう。 (調べ学習から始め、英語で発表をする。)	○	○	○
	11 12	4 3					
3	1	3	Lesson15 How much is it?	・買い物をする時の会話をおこなう。	○		○
	2	3	まとめ	3年次の学習内容の復習	○		○
担当者からのメッセージ（学習方法など）							
2年次に引き続き、英語を用いての異文化理解やプレゼンテーションを進めていきます。調べたことを相手に伝えることを意識して、発信力を鍛えていきましょう。							

科目名			ハングル		学年	普通科			必／選	単位数	
					3	アドバンス		キャリア	スポーツ	選	1
						国文	理進				
						。					
学 習 目 標			基本文法を学び、初級レベルの読解力と、ハングルを用いた簡単なコミュニケーションがとれるような能力の習得を図ること。								
使 用 教 材			主たる教材： 書き込み式 超入門ハングルノート 副教材： 補助教材（プリント等）								
評 価			評価法	〈主体的に学習に取り組む態度〉 ・授業への参加（韓国の文化をふまえて、日本での身近な暮らしにかかわる事柄について、本文での表現を用いつつ、ペアで2発言程度の短い会話をするができるかどうか。また、ロイロやプリント、レポートなどの課題の提出があるかどうか。） (知識・技能) ・言語や文化についての知識・理解（語句や文構造、文法事項についての知識を身につけているかを、課題考査、定期考査や授業中の小テスト等で評価する。韓国語による自己紹介等のテストも実施する、） (思考力・判断力・表現力) ・外国語表現の能力（ハングルの発音に注意し、意味内容が聞き手に伝わるように音読をすることができる。学期に2回程度の音読テストで評価する。） ・外国語理解の能力（絵や写真に基づいた韓国語の簡単な短い文章や対話文を理解できる。課題考査、定期考査で評価をする。）							
				評価観点の趣旨	a	知識・技能	基本的な知識や技能を身につけているか。 日常的な話題や社会的な話題について、簡単な韓国語を聞いたり読んだりして得られた情報を使って、自分の考えを韓国語で表現することができるか。				
					b	思考・判断・表現	身につけた知識をもとに、問題や課題に取り組んでいるか。 コミュニケーションを行う場面や目的、状況に応じて情報を整理しながら自分の考えを論理的に簡単な韓国語で表現をすることができるか。				
					c	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化への理解を深め、主体的に外国語でコミュニケーションをとろうとしているか。				
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。											
期	月	時数	学習項目・ 単元		学習内容	評価方法					
						a	b	c			
1 学期	4	3	ハングルの書き方、読み方、発音のルール ～です（自己紹介する/平徐文） ～ですか？（職業を尋ねる/疑問文）		第1章 ハングルについて	○	○	○			
	5	4	～は（自分について話す/助詞①） ～が（趣味をいう/助詞②）			○	○	○			
	6	4	これ、それ、あれ（物を指す/指示代名詞①） います、あります（設備があるかないか尋ねる/			○	○	○			

	7	3	存在詞①) ～に、～も（お店の場所を言う/助詞③）		○	○	○
2 学 期	9	4	いません、ありません（無い事を伝える/存在詞②）	第2章 基本の文法と会話	○	○	○
	10	4	します（公演の有無を尋ねる/基本動詞）		○	○	○
			～を～で（助詞④）、ではありません		○	○	○
	11	4	どこ、何（商品について尋ねる/疑問詞疑問詞②）		○	○	○
			誰（人について尋ねる/疑問詞③）		○	○	○
3 学 期	1	3	～です、～ます（用言を「～です」「～ます」に活用）	第2章 基本の文法と会話	○	○	○
			～です、～ます（柔らかい言い方をする）		○	○	○
	12	3	～します柔らかい ^レ 体で会話する/動詞・形容詞の ^レ 体		○	○	○
			～月、～日（日付をいう/漢数詞と日付）		○	○	○
			いくらですか？（値段を尋ねる/疑問詞④）		○	○	○
			～時、～分（時刻を言う/固有数詞と漢数詞）				
	1	3	～しました、～でした（過去のことをいう/過去形）	第2章 基本の文法と会話	○	○	○
	2	3	～したいです（行きたい場所を伝える/意思、願望）		○	○	○
			～されます、お～になります（席をゆずる/尊敬形）		○	○	○
			～してください（してほしいことを頼む/依頼）		○	○	○
			～しましょう（観光地へ誘う/勧誘）		○	○	○
			～しても良いですか？（許可を求める/許可）				
			～しないでください				
			（自分を忘れないようお願いする/丁寧な禁止）				
担当者からのメッセージ（学習方法など）							
毎回の授業を大切にして、こつこつ頑張しましょう。提出するものは必ず期限内に提出すること。							

科目名			スペイン語	学年	普通科				必／選	単位数	
				3	アドバンス		キャリア	スポーツ	選	1	
					国文	理進					
					。						
学 習 目 標			スペイン語の基本文法を学び、初級レベルの読解力と、スペイン語での簡単な会話が理解できる能力の習得を図る。								
使 用 教 材			主たる教材：Estudio 1 TV 楽しく覚えるスペイン語nivel elemental 副教材：補助教材（プリント等）								
評 価			評価法	〈主体的に学習に取り組む態度〉 ・授業への参加（スペインの文化をふまえて、日本での身近な暮らしにかかわる事柄について、本文での表現を用いながら、ペアなどで2発言程度の短い会話を行うことができるかどうか。また、ロイロやプリント、レポートなどの課題の提出があるかどうか。授業中の課題や活動への取り組みがあるか。） (知識・技能) ・言語や文化についての知識・理解（語句や文構造、文法事項についての知識を身につけているかを、課題考査、定期考査や授業中の小テスト等で評価する。スペイン語による自己紹介のテスト、文化紹介のテスト、プレゼンテーションも実施する。） (思考力・判断力・表現力) ・スペイン語表現の能力（発音に注意し、意味内容が聞き手に伝わるように音読できる。音読テスト、発音テストで評価する。） ・外国語理解の能力（絵や写真に基づいたスペイン語の簡単な短い文章や対話文を理解できる。課題考査、定期考査等で評価をする。）							
				a	知識・技能	定期考査・小テストなど。基本的な知識や技能を身につけているか。 日常的な話題や社会的な話題について、基本的なスペイン語を聞いたり読んだりして得られた情報を使って、自分の考えをスペイン語で表現することができるか。					
						b	思考・判断・表現	定期考査、板書及びプリントの内容、課題の取り組み、レポートなど。身につけた知識をもとに、問題や課題に取り組んでいるか コミュニケーションを行う場面や目的、状況に応じて情報を整理しながら自分の考えを論理的に簡単なスペイン語で表現することができるか。			
								c	主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み、出席状況、プリントや問題集の提出状況 自学自習の取り組み。 外国語の背景にある文化への理解を深め、主体的に外国語でコミュニケーションをとろうとしているか。	
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。											
期	月	時数	学習項目・ 単元			学習内容		評価方法			
								a	b	c	

1 学 期	4	3	・名前、あいさつ、出身、住所 ・文の種類（平叙文、肯定文、否定文、疑問文）	Lesson 1 あいさつ	○	○	○
	5	3	・自己紹介する。（5文以上で） ・名詞（性、数）、冠詞	Lesson 2 紹介	○	○	○
	6	3	・専攻と学習言語、履修科目を表現する。 （自分の専攻、学習言語のプレゼン）	Lesson 3 専攻と言語	○	○	○
	7	3	・動詞、直接法現在（規則活用）、動詞 ser, estar ・ものの名前、所在、行き先、交通手段 ・指示詞、 hay 、並列の接続詞 y, pero, o など	Lesson 4 街で	○	○	○
2 学 期	9	3	・食べもの・食事、好物、注文、料理 ・目的格人称代名詞、動詞 gustar を用いる文	Lesson 5 食事	○	○	○
	10	4	・家族、職業、外見、年齢 ・所有代名詞、動詞 tener を用いる文	Lesson 6 家族と職業	○	○	○
	11	4	・言い方を尋ねる、所持品、買い物、 ・形容詞、動詞 querer を用いる文	Lesson 7 持ち物 Lesson 8 住居	○ ○	○ ○	○ ○
	12	3	・住居、部屋、家具類の位置、家賃と広さ ・数字、前置詞				
3 学 期	1	4	・現在の時刻、時間・スケジュール、一日の生活、予定表 ・再帰代名詞、動詞 jugar を用いる文	Lesson 9 時刻と日付 Lesson 10 大学学	○ ○	○ ○	○ ○
	2	5	・道案内、教室で、可能・禁止、時間割 （道案内のパフォーマンステスト） ・肯定命令文、無人称の ser ・週末の話題、経験、観光・訪問 ・現在分詞、現在完了	Lesson 11 週末の後で	○	○	○
担当者からのメッセージ（学習方法など）							
昨年から継続して学習しますので、復習もしながらより発展的な内容が理解できるようにがんばりましょう。 学校行事や授業時数の関係で、予定が変更になる場合があります。							